

# アカデミー通信

発行者: アカデミー学院  
責任者: 舟田 謙二  
254-0903 平塚市河内 520-1  
TEL 31-6831 FAX 35-1690  
URL <http://www.academygakuin.com>  
HOTLINE: [jfunada@gmail.com](mailto:jfunada@gmail.com)

## 今からできる得点アップ裏ワザ 合格十か条

中3生、そして公立中高一貫校受験者は、いよいよ入試本番です。不安もあるでしょうが、本番までの期間を過ごす上での心構えを伝授します。ぜひ実践してください。

1. 過去問や予想問題を数多く解き、問題のパターンや解答のパターンを覚える。同じ問題を何度も解き、確実にできることを増やしましょう。
2. 自分の苦手科目・分野・弱点を把握し、基礎を徹底的に押さえる。基礎問題を解いたら予想問題などで類題を解く。入試ではワークのような問題は出ないので、あくまで入試形式の問題を解いて確認するように。
3. 塾のワークや模試の模範解答の解説をじっくり読んで解答のコツを身につける。記述問題は模範解答がどのように書かれているかを把握し、まねて書いてみるのも効果的。
4. 自分でやってみてよく分からないところは、塾の補習を活用して、先生に納得いくまで教えてもらう。一人ひとりに合ったプリントを出すこともできます。先生をどんどん活用してください。
5. 時間を区切って勉強する。試験時間に区切ると時間の感覚がつかめてくるのでおすすめ。疲れたら気分転換も大事ですが、寝る時以外は完全OFFにしない。試験が頭から離れると落ちる、くらくらするのもあくまで入試に照準を合わせていよう。
6. トイレなど、空き時間を利用して、暗記モノをやる。暗記したことは翌日必ずもう一度確認すること。
7. 否定的なことを考えず、イメージトレーニングで、ものごとを肯定的にとらえる。「ダメだ」という言葉は禁句。出した言葉

- は潜在意識に届き、自信をなくさせようとしてくる。これを逆手にとって、「絶対できる」「本番で学んだことを発揮するのが楽しみだ」と言葉に出して、いれは本番にその通りになる。
8. 早寝・早起きに切り替え、本番の試験時間に合わせる。
9. マスク着用、うがい、手洗いを励行し、栄養をとって風邪やインフルエンザから体を守る。
10. 試験前日は胃にもたれないよう軽い食事をする。ゲンをかきついでカツ丼などを食べて体調を崩さないように。
11. 試験前夜まで来たら、もう遅くはない。遅くまで起きて勉強せず、早く寝る。

1. 試験開始前には、余計なこととは考えず、目の前の試験に集中する。自分がやってきたことを考え、完璧を狙いすぎないで、いつも通りの力を出せるようリラックスする。
2. 解けないと思っただけか、かかってはいけない。解けると思っただけか、意外なところでヒントが見つかるもの。
3. 問題をよく読む。読んで出題の意図をつかむ。
4. 難しいのは自分だけじゃない。他の受験生もみんな同じ。
5. 1点でも落とさない。英単語の形、理科の単位、数学の計算などで生まれる1点のミスが合否を分ける。
6. すぐに解けなくても決して慌てない。冷静に見れば解く糸口が見えてくる。
7. 基本的な問題をしっかりと解いて確実に得点する。
8. 1秒も無駄にしない。時間のある限り考え、見直すこと。最後までベストを尽くす。
9. やってみたい意外と時間がかりそうな問題は、思い切って飛ばして次の問題へ進む。飛ばすときは解答欄をずらして書かないよう注意。
10. 記述式問題は白紙にしない。何も書かなければ0点だが、何か書けば部分点がもらえる可能性がある。最後までねばって高得点をもぎ取る。時間が足りないようなら他の問題を解こう。

今から、あるいは試験前夜になつて不安を感じることもあるかもしれませんが、緊張したところで、得点は上がりません。それならば、今できることをやるのみです。冷静に、一歩ずつ、目の前のことやっつけていきましょう。

テレビやケータイは極力見ない。決意があるとなおいいです。息抜きも必要ですが、今最も力を注ぎ、高い結果を求め、今後の生活を左右するような価値あることは、勉強の他ありません。友達とも連絡を取りすぎないようにしましょう。塾に来ればケータイに触れない環境がありますし、友達にも「塾だから返信ができない」とあらかじめ言っておくことをお勧めします。

また試験当日に完璧なコンディションを求めたり、120%の力を出そうとしても、自分にプレッシャーをかけるだけです。前に眠れなくても、目をつむってあまり考えないようにすればいい。試験中の集中力を高めるために当日の朝、コーヒーなどでカフェインを摂るのもいいですが、飲みすぎは禁物。あくまでいつもと同じことをするのが原則で、今までにやっていたことを出し切るだけです。「ここまで、あれだけ頑張ってきた。あとはやるだけだ」と開き直るのが一番です。

皆さんの健闘を祈ります。

## 入試前夜

## 生活の中の相対性理論

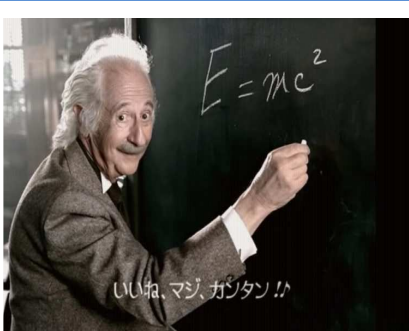
「相対性理論って知っていますか?」かの20世紀最大の科学者、物理学者と言われたアルベルト・アインシュタインが発見した理論で、 $E=mc^2$  (エネルギー=質量×光速の二乗) という式で知られています。皆さんよく知っているニュートンの「万有引力の法則」の欠陥を補正したもので、ひとりで言う「重力が空間を曲げている」なのです。これだけでは普通の人にはピンときません。

実はどの教科の勉強もそう、生活に密着させて簡単に考えると分かりやすく、しかも楽しくなります。勉強を暗記だと思っている人が多いですが、暗記はとりあえず試験の間は合うかもしれない。試験が終わるときにさっぱり忘れてしまします。

たとえば、日本地理で「瀬戸をただ単に一年間降る雨量が少なく、晴天日数や日射量が多い」と丸暗記してしまうと、北海道気候、日本海沿岸気候、内陸性気候、太平洋岸気候、南西諸島気候など他の気候区を学ぶと覚えることが多過ぎて混乱したり、忘れてしまったりします。

そこで、瀬戸内式気候は、夏の季節風は四国山地によってさえぎられるため、年間を通じて天気や湿度が安定している、6・7月の梅雨と9月の台風・秋雨にはさまれた8月は雨があまり降らない。それで米の栽培に適していないため代わり米を栽培している。この小麦を加工してうどんを作っている、香川県讃岐うどんがおいしくて有名。とここまで生活に結び付けて考えれば、とても簡単に覚えられ、しかも一生忘れません。

地理が好き、と言う人はみんな生活に結び付けて学んでいるから、嫌いな人は暗記科目だと思っただけです。勉強が苦痛になるか、楽しくなるかもやはり「相対性理論」なので



Ufa, マジ, ガタン!!

そこで、アインシュタインは私達にも分かるような言葉で相対性理論を次のように説明しました。

「素敵な女の子と1時間デートしたなら、ほんの1秒のように感じるでしょう。でも真っ赤に燃えている石炭の上に1秒でも座ってごらんください。まるで1時間のように感じます。これが相対性理論ですよ」

難しいことを日常生活の中で置き換えるとカタンに分かります。私の言い方で説明すればこうなります。

「今、1年で一番寒い冬ですが、暖房を24度に設定したら暑いぐらいです。ところが、真夏の外気温が30度ぐらいの時、冷房を24度に設定したら寒く感じます」

今、学んでいる英語や数学も将来いろいろなところで役立つように見出すと、勉強はとても楽しくなりますよ。